

## 第27回東北ニュービジネス大賞表彰制度 受賞企業一覧

(敬称略)

### 【東北ニュービジネス大賞】 ※2社

会社名・代表者名		所在地・TEL・FAX	
<b>インターフェイス株式会社</b>		〒010-0001 秋田県秋田市中通2-8-1 7階	
代表取締役 野澤 一美 (のざわ かずみ)		TEL:018-827-7155 FAX:018-827-7188	
会社設立	2006年6月	U R L	<a href="https://clinical-testing.jp/">https://clinical-testing.jp/</a>
資本金	300万円	従業員数	27名
事業内容 受賞理由	<p><b>臨床試験ビジネスのパイオニア ～世界のキレイは、秋田から～</b></p> <p>化粧品や日用品の有用性・安全性を評価する臨床試験数が国内最多である同社は、秋田市に拠点を構え、「秋田美人×肌測定」を武器に、国内外の化粧品メーカーや製薬会社からの委託のもと、1万人を超えるモニター登録者による試験データを提供している。地元秋田を中心とした登録モニターを重要なビジネスパートナーと位置づけ、お互いの信頼関係から生み出される確かな試験データは、クライアント各社から高い評価を得ている。また、コロナ禍における新薬開発の重要性が高まるなか、薬の治験業務も計画しており、臨床試験受託機関という特異分野におけるビジネス成長可能性を大いに感じさせる。秋田発ベンチャーとして創業以来地域に根差した事業活動を貫きながら経営地盤を固め、秋田を代表するベンチャー成長企業となった同社の確固たる理念が築き上げた「企業力」は正に大賞評価に値する。</p>		

会社名・代表者名		所在地・TEL・FAX	
<b>株式会社ホリ・コーポレーション</b>		〒998-0102 山形県酒田市京田4-5-2	
代表取締役社長 堀 直之 (ほり なおゆき)		TEL:0234-28-8352 FAX:0234-28-8357	
会社設立	1975年6月	U R L	<a href="https://horicorporation.co.jp/">https://horicorporation.co.jp/</a>
資本金	1300万円	従業員数	25名
事業内容 受賞理由	<p><b>「DX」で進化するタイヤショップ ～タイヤホイール専門店「タイヤ一番」～</b></p> <p>1975年に創業した同社は、タイヤの店舗販売の限界を打破すべくインターネット通販店をオープン。受発注・発送業務には「RPA」を導入し、販売から取り付けまでのオンライン・ワンストップサービスを実現した。システムエンジニアを自社雇用し、積極的なシステム開発による業務効率化が図られた結果、ユーザー満足度も高まり、クルマ離れと云われて久しいこの業界で、3期連続売上増という見事な経営手腕を発揮している。世界に比べ3周遅れといわれる日本の「DX」。同社のように積極的に取り組み、経営革新を実現させている企業はまだまだ少なく、既存事業に限界を感じる他企業の模範ともいえ、大賞評価とした。また、同社のきめ細やかなオペレーション技術やその取り組み姿勢は、今後タイヤ販売事業のみならず横展開も十分可能で、新たな市場創造可能性も感じさせる。</p>		

### 【東北アントレプレナー大賞】

会社名・代表者名		所在地・TEL・FAX	
<b>有限会社三陸とれたて市場</b>		〒022-0101 岩手県大船渡市三陸町越喜来字杉下75-8	
代表取締役社長 八木 健一郎 (やぎ けんいちろう)		TEL:0192-44-3486 FAX:0192-44-3484	
会社設立	2004年5月	U R L	<a href="https://www.sanrikutoretate.com/">https://www.sanrikutoretate.com/</a>
資本金	500万円	従業員数	10名
事業内容 受賞理由	<p><b>漁業現場と消費者がつながる新たな食文化の可能性 ～盛るだけお造り 天然旬凍～</b></p> <p>東日本大震災で全生産設備を失った同社は、鮮魚販売から最新の凍結技術「CAS」を用いた加工業への転換を図り、世界のどこでも高鮮度の魚介を食することができる商品規格・流通を確立した。BtoB・BtoCすべての提供シーンに最適化する約200種におよぶ魚介類のデータマネジメント、シームレスなロジスティクス、そして地元漁業従事者との緊密な連携など、八木氏の三陸復興へのひたむきな思いと課題解決力が実を結び、水産加工業の新たな事業モデルを創出したことを高く評価したい。三陸の最高品質の魚介を調理不要で最高の状態で提供できるこの技術・仕組みで、海外も視野に新たな食文化を生み出したいという同氏の挑戦力に、起業家としての強い志を感じさせる。</p>		

## 【シニアアントレプレナー大賞】

会社名・代表者名	所在地・TEL・FAX		
<b>あおり藍産業協同組合</b>	〒030-0802 青森県青森市本町5-6-16		
代表理事 吉田 久幸 (よしだ ひさゆき)	TEL:017-763-5420 FAX:017-763-5423		
会社設立	2006年9月	U R L	<a href="https://aomoriai.com/">https://aomoriai.com/</a>
資本金	100万円	従業員数	3名
事業内容 受賞理由	<p>愚直なまでの研究開発で「藍」の可能性を引き出す ～あおり藍による地域活性化～</p> <p>「青森を藍の花でいっぱいになりたい」その思いから始めた活動から15年。染技術開発とともに藍の機能性に着目し、大学との連携で機能性成分の抽出に成功し特許を取得した。消臭・抗菌効果も認められ、あおり藍で染めたポロシャツがNASAの船内着に採用されるなど、衣食住様々な商品開発に応用し「あおり藍」のブランディングに取り組んでいる。さらに、昨年にはインフルエンザ阻害剤としての特許を申請し、まさに今、新型コロナへの効果検証を開始している。吉田氏が地元青森の産業活性化の一翼を担いたいと64歳で事業化して以来、「あおり藍」の無限の可能性にこだわり続け、喜寿を越えてなおも研究開発に取り組むチャレンジ精神は、老若男女問わず起業を志す人々に全てに勇気を与えるものと評価した。</p>		

## 【革新的技術開発賞】

会社名・代表者名	所在地・TEL・FAX		
<b>日本工機株式会社 白河製造所</b>	〒961-8686 福島県西白河郡西郷村大字長坂字土生2-1		
常務取締役・製造所長 寺島 実 (てらしま みのる)	TEL:0248-22-3111		
会社設立	1933年3月	U R L	<a href="https://www.nippon-koki.co.jp/">https://www.nippon-koki.co.jp/</a>
資本金	20億円	従業員数	362名
事業内容 受賞理由	<p>東北の産業技術が生んだ世界に誇る宇宙技術 ～「はやぶさ2」用衝突装置 Small Carry-on Impactor～</p> <p>数々の国内技術が結集し、2014年の打ち上げから今なお宇宙の謎を解明し続ける「はやぶさ2」。惑星地下物質採取のための人工クレーター生成に成功した衝突装置が、同社が開発した「Small Carry-on Impactor(小型衝突装置)」である。同社の爆薬成型技術をベースに、福島県内企業の成型・溶接技術が加わり、宇宙空間でも極めて正確に作動する装置を完成させ、見事ミッションを成功させた。同社の歴史は古く、防衛用装備品製造という特殊産業でありながら、エアバッグやネットランチャー等の安全・防犯装置の開発なども手掛け、今回の衝突装置も含め広く社会に活かせる技術開発に注力している。今回、「はやぶさ2」の偉業は、同社をはじめとするモノづくりにこだわる技術者達が、モノづくりの原点に立ち返って努力した成果であり、コロナ禍の中で福島県民はじめ日本中に無類の感動を与えた功績は大きい。</p>		

## 【特別賞】

会社名・代表者名	所在地・TEL・FAX		
<b>株式会社ディメール</b>	〒031-0071 青森県八戸市沼館1-10-46		
代表取締役社長 木村 興 (きむら こう)	TEL:0178-71-2288 FAX:0178-41-2811		
会社設立	2005年10月	U R L	<a href="http://www.de-mer.com/">http://www.de-mer.com/</a>
資本金	6550万円	従業員数	106名
事業内容 受賞理由	<p>生活者目線で確かな商品開発 ～「切れてるしめさば」を世界へ～</p> <p>青森県八戸において、企業再生支援機構と地元商社(株)吉田産業の支援のもと、東日本大震災の被災企業3社が協同設立した同社は、八戸ならではの水産加工品の製造販売を主要事業とし、その中でも主力の「しめさば」の加工技術は数々の国内品評会での受賞実績を重ね、販路を拡大している。弛まぬ探求心で「切れてるしめさば」など、常に生活者目線に立った商品開発を行っており、八戸の「しめさば」の認知度は着実に浸透し、地元産業活性化への貢献度は高い。そして今、「しめさば」を自社の冷燻技術でアジアへ輸出するプロジェクトも進行中で、その先はアジアのみならずアメリカやアフリカへと、世界の燻製文化に挑戦したいという明確なビジョンを掲げる。震災から見事に再生した企業として、今後の展開に期待しエールを送りたい。</p>		

## 【奨励賞】※3社

会社名・代表者名	所在地・TEL・FAX		
<b>株式会社釜石電機製作所</b>	〒026-0055 岩手県釜石市甲子町第9地割171-4		
代表取締役 佐藤 一彦 (さとう かずひこ)	TEL:0193-21-1751 FAX:0193-21-1752		
会社設立	1949年7月	U R L	<a href="https://www.e-kamaden.co.jp/">https://www.e-kamaden.co.jp/</a>
資本金	5000万円(資本準備金含む)	従業員数	31名
事業内容 受賞理由	<p><b>地域産業同士が支えあう高度な技術 ～光触媒空気抗菌装置「カザノイア」～</b></p> <p>釜石にて日本製鉄(株)・釜石鉱山(株)の協力的会社としてモーターのメンテナンス等を主軸としていた同社は、岩手の基幹産業である農林水産業を応援したいとの思いから、畜舎や酒蔵等の生産環境・空気環境問題を解決すべく、同社において長年培ってきた溶射技術をもって大学等との共同研究を進め、独自の酸化チタンコーティング技術による光触媒装置を開発した。畜舎における家畜の罹病減少・生育改善、酒蔵においては麹室の空気環境改善による酒質の向上など、目に見えた成果を生み出しており、地域産業振興に貢献している。昨今のコロナ禍においても、この光触媒による空気洗浄機能に抗ウイルス性能を明確に有する製品の開発に着手するなど、同社のその優れた技術開発力を地域にとどまらず全国に広く展開されることを期待している。</p>		

会社名・代表者名	所在地・TEL・FAX		
<b>株式会社グレープリパブリック</b>	〒999-2205 山形県南陽市新田3945-94		
代表取締役社長 平 高行 (たいら たかゆき)	TEL:0238-40-4130 FAX:0238-40-4130		
会社設立	2015年8月	U R L	<a href="https://grape-republic.com/">https://grape-republic.com/</a>
資本金	1000万円	従業員数	5名
事業内容 受賞理由	<p><b>南陽市をブドウ共和国(GRAPEREPUBLIC)に ～Made of 100% Grape のナチュラルワイン～</b></p> <p>東京都内の有名イタリア料理店を広く展開するオーナーらが、山形県南陽市の風土、人、そして「ぶどう」に魅せられ、自ら移住・就農して本格ワイナリーを作り上げた。イタリアをはじめとする世界の食文化・ワイン文化に精通する彼らが、気候風土・製法・素材・品質にこだわりぬいて作る独自のナチュラルワインは、創業以来堅調にファンを増やし続け、販路拡大を続けている。また、地方が抱える高齢化や後継者不足は南陽のぶどう農家も同様であり、耕作放棄地を活かしたここでしか作れないナチュラルワインを軸に、新たなツーリズムも企画実践しながら、ブドウ農家全体の収益性も高め、人も呼び込み地方活性化につなげたいと地域一体となり奮闘している。地域資源の価値を高め、南陽市が一大ワイン産地となる可能性をもたらすこの取り組みを高く評価し、地域再生のロールモデルとなるよう今後も大いに期待したい。</p>		

会社名・代表者名	所在地・TEL・FAX		
<b>株式会社サムライアロハ</b>	〒981-1104 宮城県仙台市太白区中田5-13-65		
代表取締役 櫻井 鉄矢 (さくらい てつや)	TEL:080-9629-8695 FAX:022-306-4742		
会社設立	2018年7月	U R L	<a href="https://www.samurai-aloha.com/">https://www.samurai-aloha.com/</a>
資本金	500万円	従業員数	4名
事業内容 受賞理由	<p><b>伝統文化の継承と創造 ～世界でひとつだけのアロハシャツ「サムライアロハ」～</b></p> <p>1900年代初頭、ハワイに移り住んだ日本人が自分たちの着物をシャツに仕立て直したのがアロハシャツの始まりと云われている。現在日本においては着物はタンスの奥に眠り、日常生活と疎遠なものになって久しい中、同社代表の櫻井氏が古物商を営み、目の前で廃棄されていく着物に心を痛み、着物の「仕立て」や「ほどき」という古来からの日本の伝統技術の継承を願い、着物(反物)を使用したアロハシャツの製作を着想した。加工や素材の供給体制は、地元の主婦、古物商、縫製工場などの人的ネットワークを駆使し、2018年の創業から2年で製造・販売ラインを構築するというその行動力・チャレンジ精神は大いに評価に値する。日本の和服は「KIMONO」として海外の認知度も高まっており、この「サムライアロハ」も既にフランスや台湾のセレクトショップでも販売実績がある。伝統文化の継承と創造を併せ持つ事業として、これからの展開に期待したい。</p>		